

2010 年度

大学院人間科学研究科修了生及び

大阪大学人間科学部卒業生の生活と意識に関する調査結果

2011 年 3 月 25 日 実施

配布数 178 回収数 135 (回収率 76%)

(アンケート用紙は末尾に添付)

大阪大学人間科学部・大学院人間科学研究科 評価委員会

このアンケート調査は、本学部卒業生および本研究科修了生の在学中の生活と意識を明らかにするために行われた。アンケート用紙は平成 22 年度卒業式当日(2011 年 3 月 25 日)、人間科学部本館 51 教室で開催された学位授与式において式の出席者に配布され、室内で記入、退室時に回収された。

アンケートは学生自身、学生生活のこと、大学教育や学生支援、本学部・研究科に関する事項等、38 の質問項目から構成されている。

以下、アンケートの設問順に各問の集計結果を図表で示す。

問 1. 性別

表 1 回答者の性別

	人数	%
1. 女性	75	55.6
2. 男性	59	43.7
無記入	1	0.7
計	135	

問 2. 卒業、修了の内訳

表 2 回答者の卒業・修了内訳

	人数	%
1. 人間科学部	90	66.7
2. 大学院人間科学研究科 博士前期課程	37	27.4
3. 大学院人間科学研究科 博士後期課程	8	5.9
計	135	

問 3. 所属学科目／学系

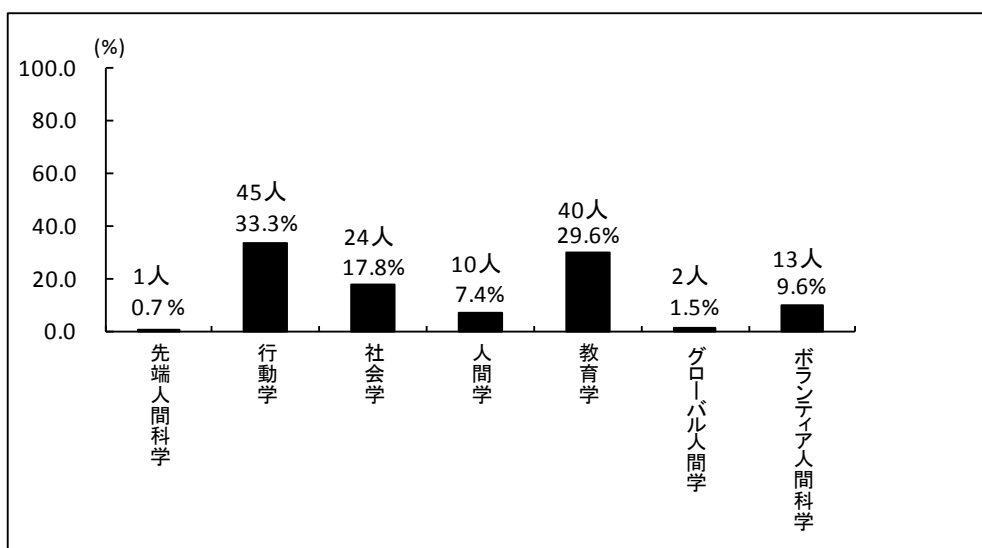


図 1 所属各科目／学系の内訳

問 4. 卒業・修了後の進路

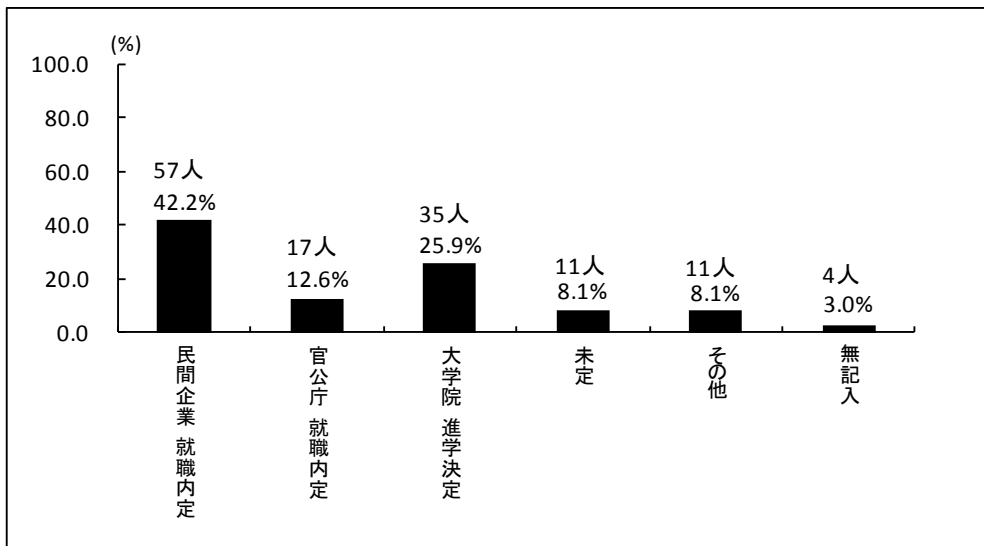


図 2 卒業・修了後の進路

学生生活または院生生活について

問 5. 本学部／本研究科を選んだ理由（複数回答可）

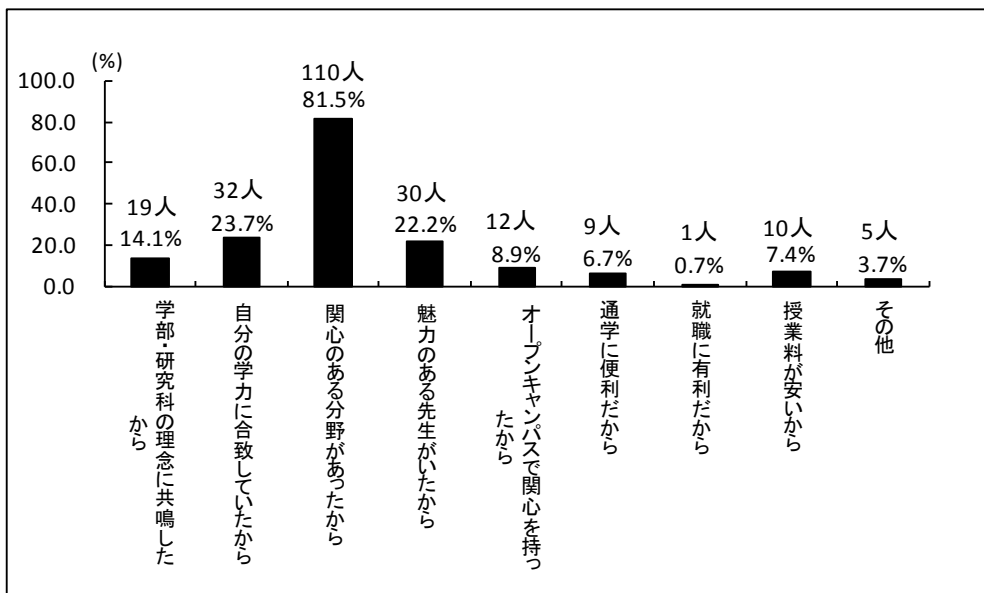


図 3 本学部／本研究科を選んだ理由

問 6. 入学前のオープンキャンパス参加状況

表 3 オープンキャンパス参加内訳

	人数	%
1. 参加した	37	27.4
2. 参加しなかった	95	70.4
無記入	3	2.2
計	135	

問 7. 学科目を定める時の情報について (学部卒業生のみ)

表 4 学科目の情報について

	人数	%
1. 十分与えられた	17	18.9
2. まあ与えられた	62	68.9
3. あまり与えられなかった	10	11.1
4. 全然与えられなかった	1	1.1
計	90	

問 8. 学科目の選択理由 (学部卒業生のみ/複数回答可)

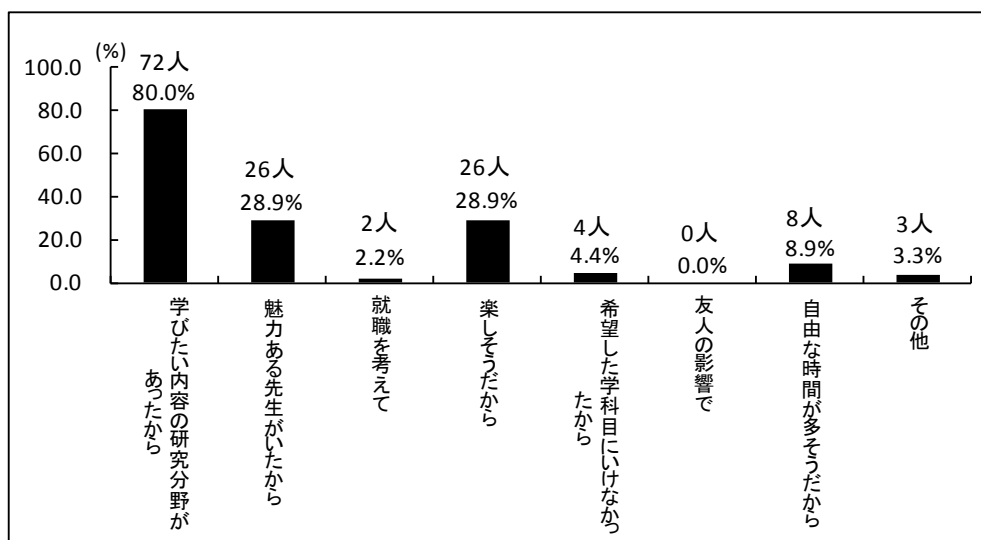


図 4 学科目の選択理由について

問 9. 学生（院生）生活で力を注いだ活動事項について

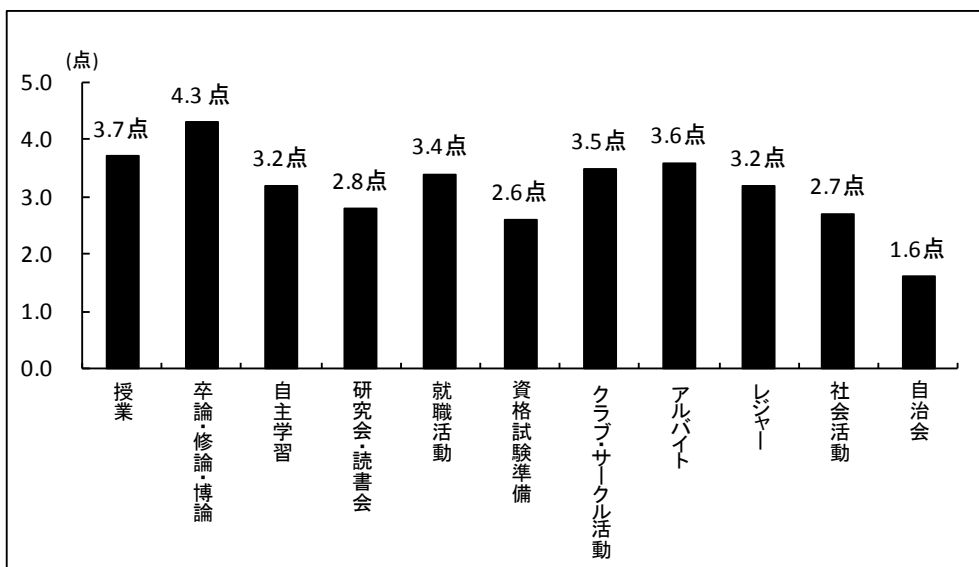


図 5 学生（院生）時代に力を注いだ活動事項

図 5 は学生／院生生活における 11 の活動事項に関して、それぞれどの程度力を注いだかについて評定を求めた結果の平均値である。「非常に力を注いだ」を 5 点、「まあ力を注いだ」を 4 点、「どちらともいえない」を 3 点、「あまり力を注がなかった」を 2 点、「力を注がなかった」を 1 点とした。平均値が高いほどその活動に対し力を注いだと評定されたことを意味している。

全学共通教育（豊中キャンパス）のカリキュラムについて

問 10～14 は編入生を除く学部卒業生のみが回答。該当者は 80 名。うち回答者は 77 名。

問 10. 「教養教育科目」の必要性について（編入生を除く学部卒業生のみ）

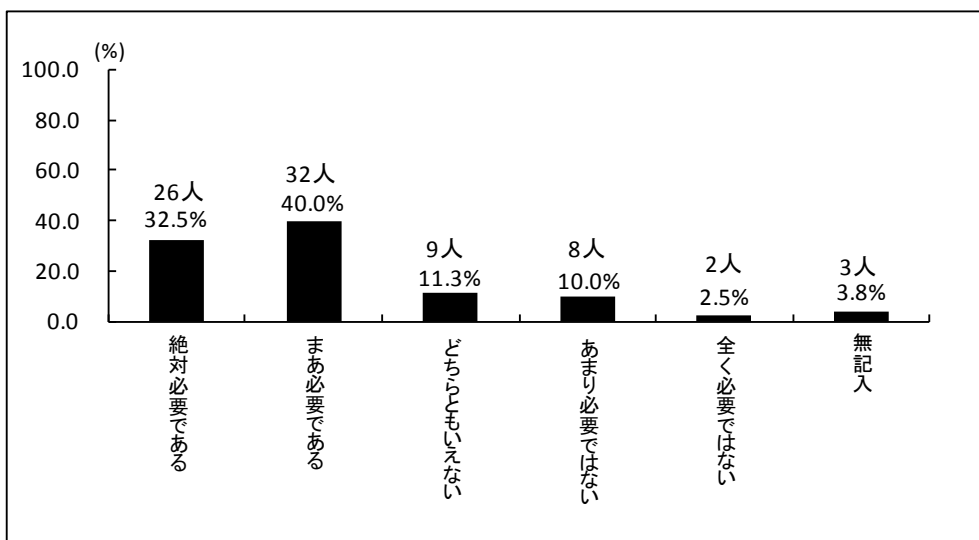


図 6 「教養教育科目」の必要性について

問 11. 「外国語教育科目」の必要性について（編入生を除く学部卒業生のみ）

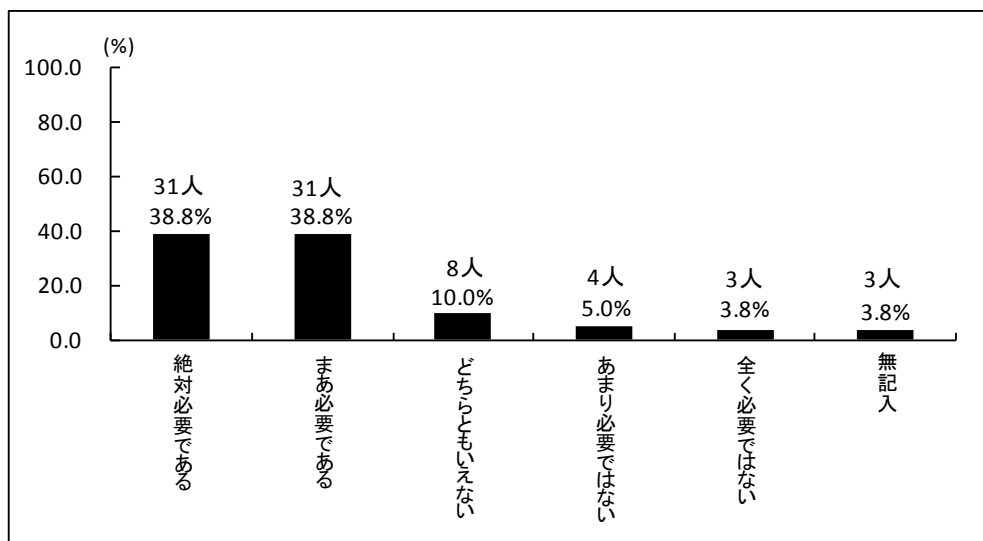


図 7 「外国語教育科目」の必要性について

問 12. 「情報処理教育科目」の必要性について（編入生を除く学部卒業生のみ）

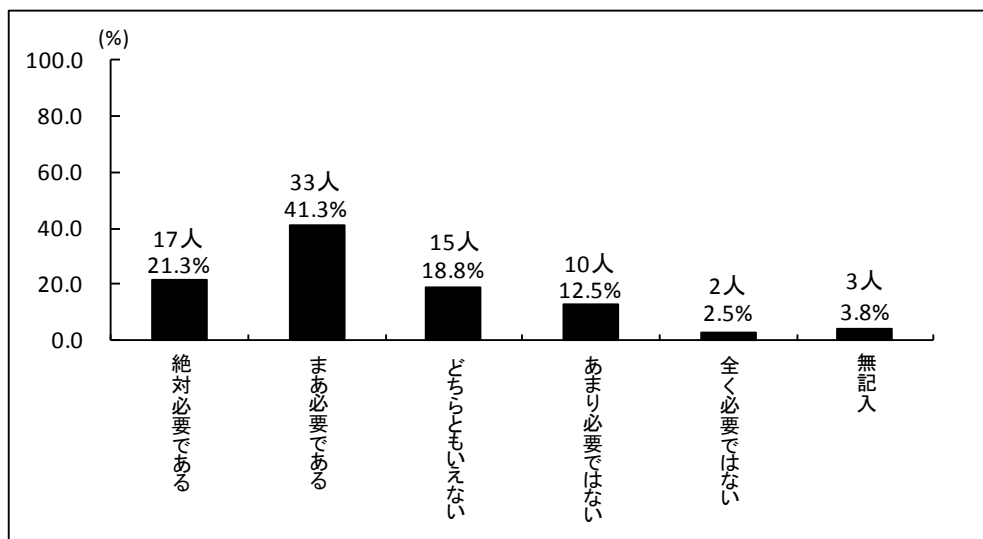


図 8 「情報処理教育科目」の必要性について

問 13. 「健康・スポーツ教育科目」の必要性について（編入生を除く学部卒業生のみ）

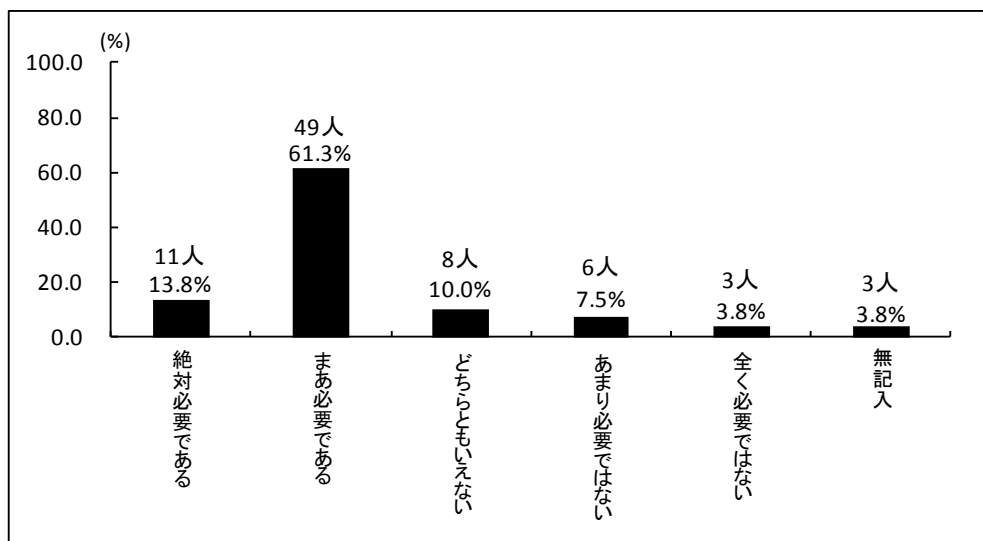


図 9 「健康・スポーツ教育科目」の必要性について

問 14. 「専門基礎教育科目」（統計学 A-I、統計学 A-II、数学 A、数学 B）の必要性について
（編入生を除く学部卒業生のみ）

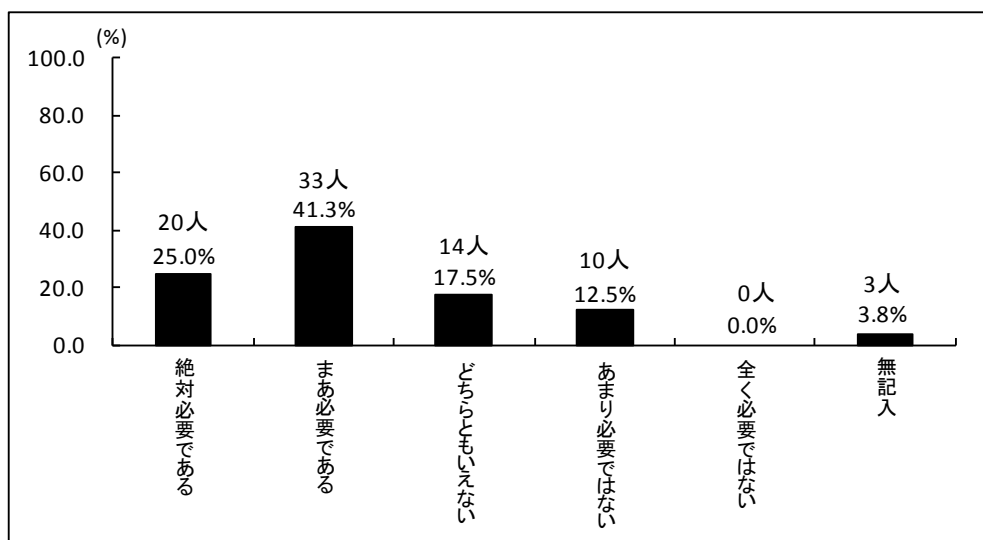


図 10 「専門基礎教育科目」の必要性について

専門課程（吹田キャンパス）のカリキュラムについて

問 15 は学部卒業生のみが回答。該当者は 90 名。うち回答者は 87 名。

問 15. 「実験実習」の卒業に必要な単位数について（学部卒業生のみ）

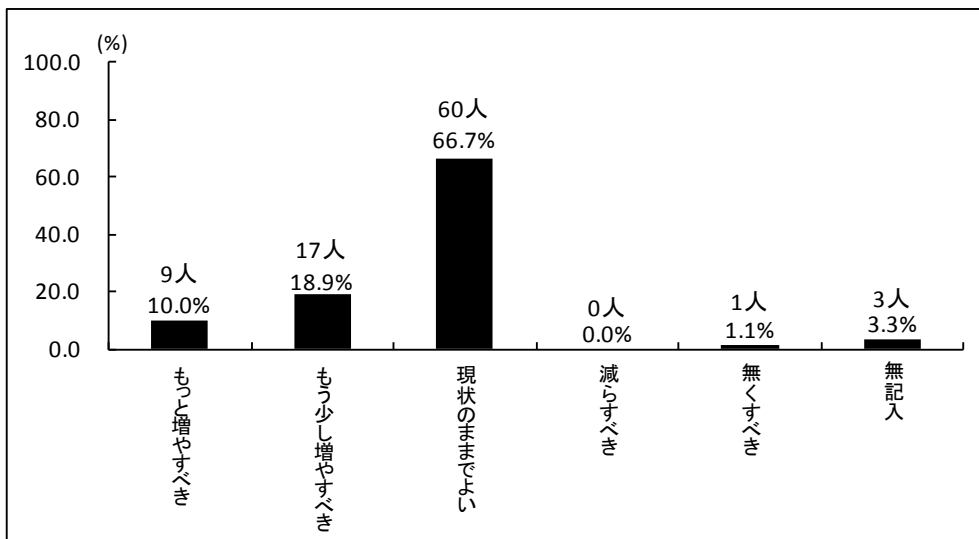


図 11 「実験実習」の単位数について

問 16. 「講義」の卒業に必要な単位数について

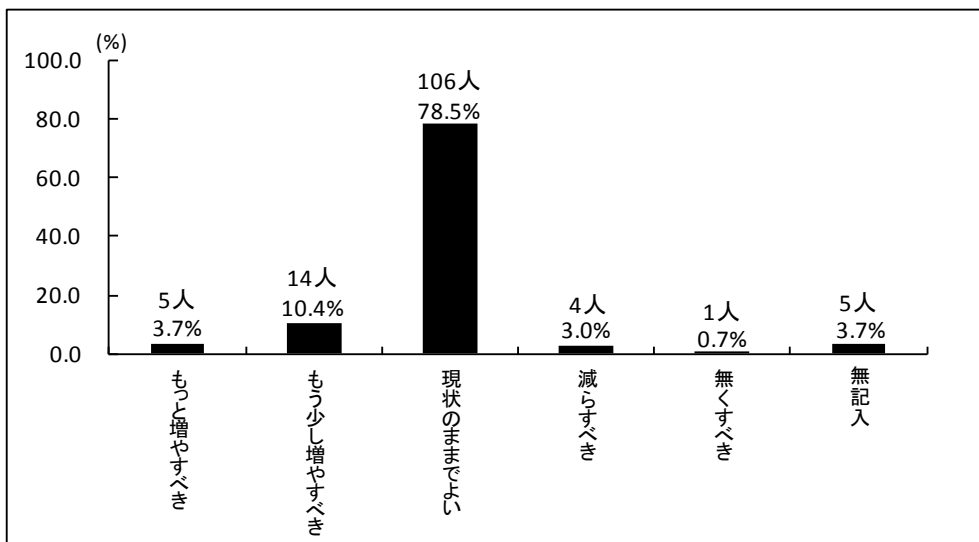


図 12 「講義」の単位数について

問 17. 「演習」の卒業に必要な単位数について

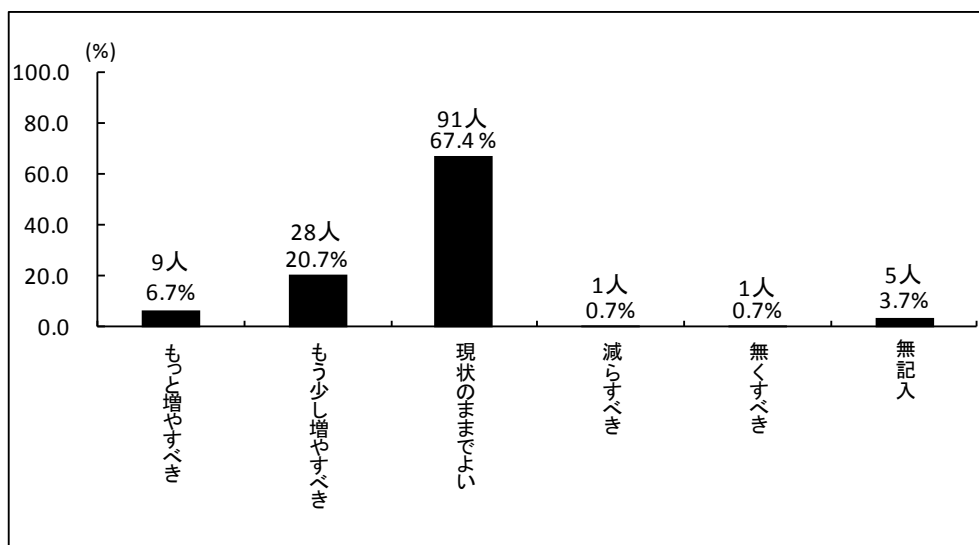


図 13 「演習」の単位数について

問 18. 卒業する為に、卒業論文または修士論文が必要になっていることについて

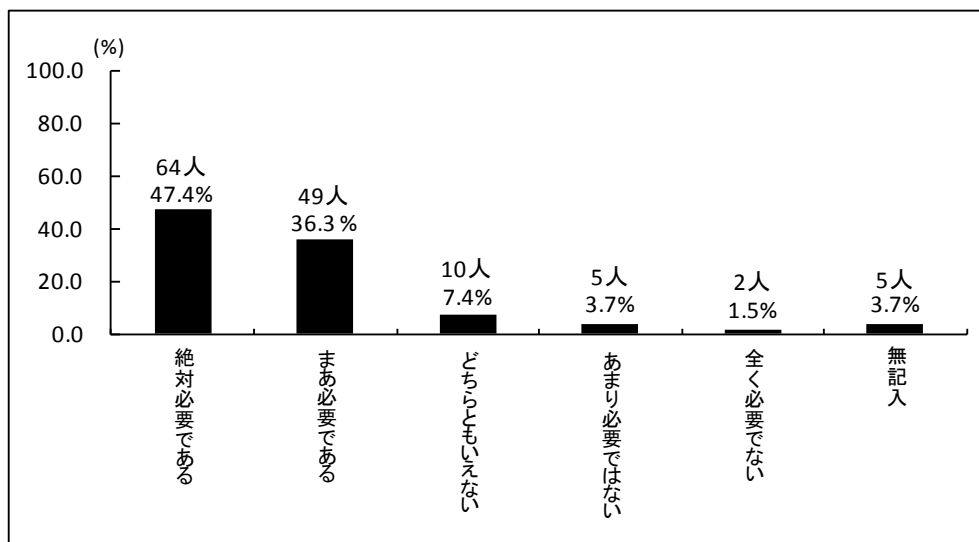


図 14 卒業論文または修士論文について

問 19. 卒業に必要な総単位数について

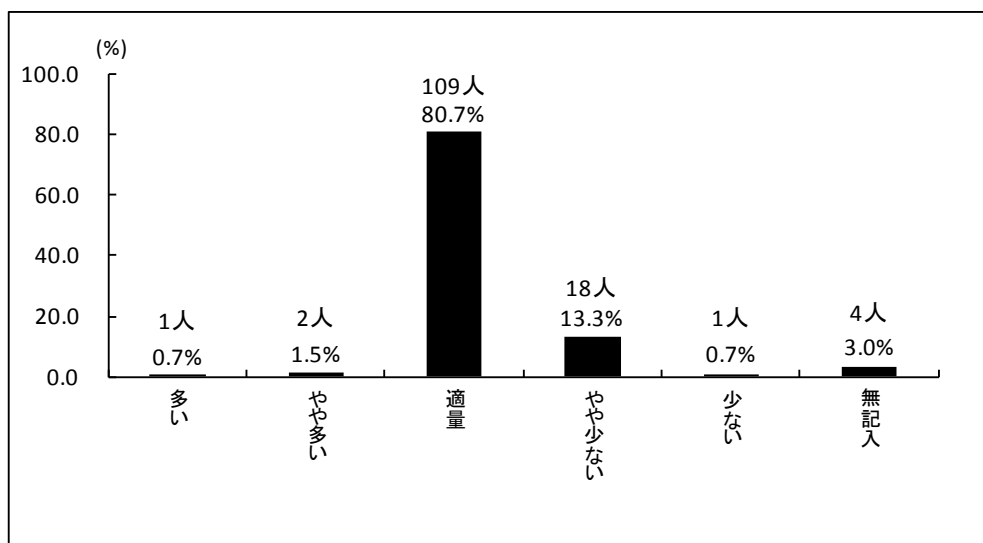


図 15 総単位数について

問 20. 本学部または本研究科で身に付いたこと（複数回答可）

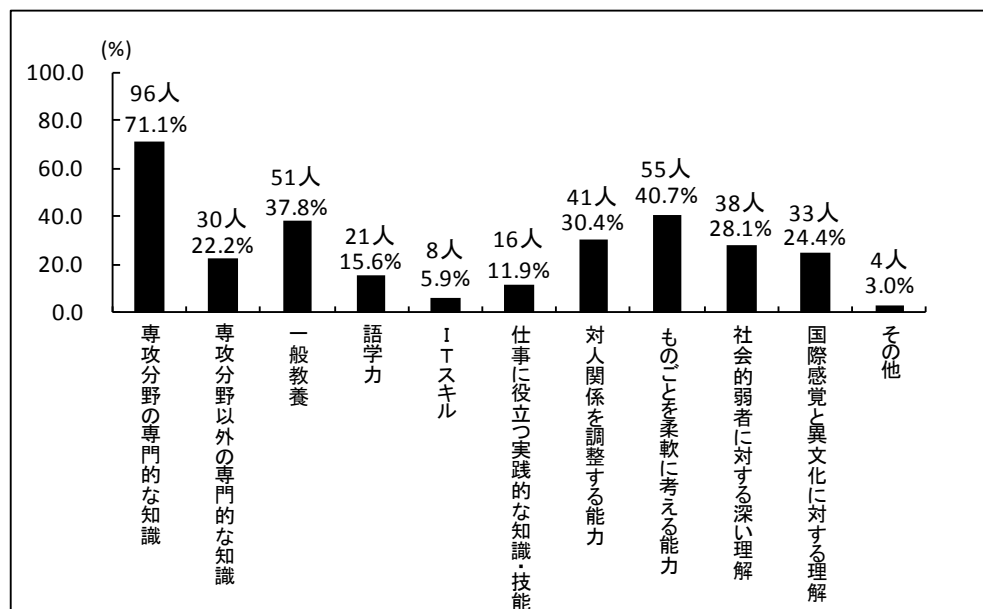


図 16 身についたことについて

問 21. 本学部または本研究科でもっと身に付けられると良いと思うこと（複数回答可）

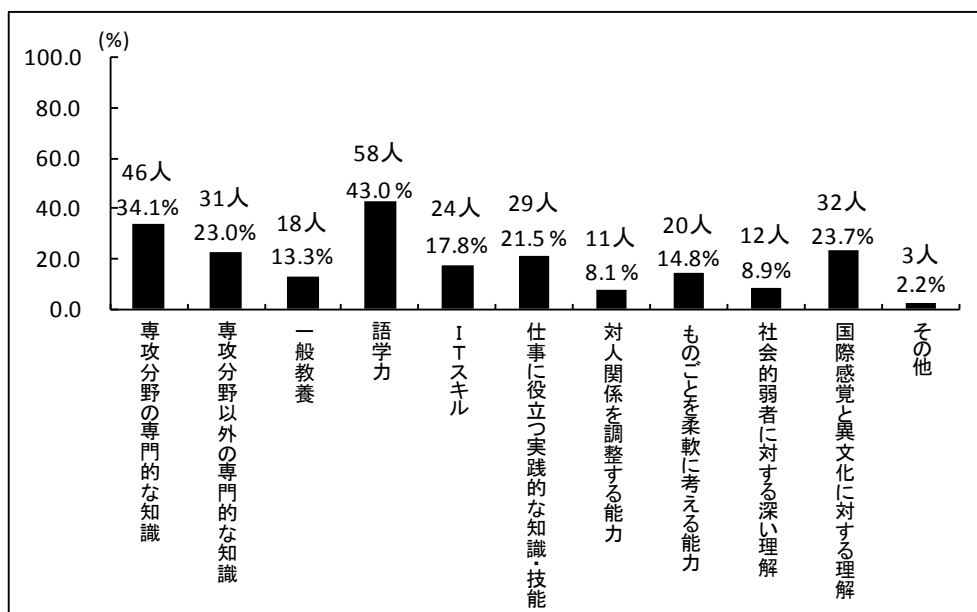


図 17 もっと身に付けられると良いことについて

インターンシップについて

問 22 .在学中、インターンシップに参加した状況

表 5 インターンシップ参加状況

	人数	%
1. 参加した	45	33.3
2. 参加しなかった	86	63.7
無記入	4	3.0
計	135	

問 23～27 はインターンシップに参加した人のみ回答（該当者 45 名）。

問 23 .参加した学年（参加した学生のみ／複数回答可）

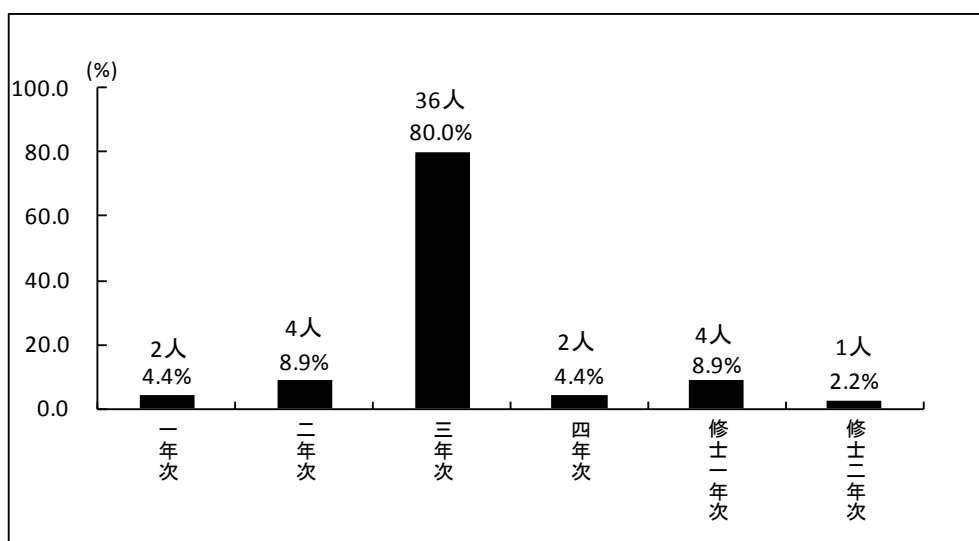


図 18 参加した時期について

問 24 .期間について（参加した学生のみ／複数回答可）

表 6 期間の内訳

	人数	%
1. 数日程度	14	31.1
2. 1～3週間程度	22	48.9
3. 1ヶ月以上	10	22.2

問 25 .受入先について（参加した学生のみ／複数回答可）

表 7 受入先の内訳

	人数	%
1. 一般企業	25	55.6
2. 官公庁	11	24.4
3. 非営利団体	13	28.9

問 26 .インターンシップ授業（インターンシップ A）等の履修について

（参加した学生のみ／複数回答可）

表 8 受入先の内訳

	人数	%
1. 履修した	24	53.3
2. 履修しなかった	21	46.7

問 27. インターンシップは就職活動や進路決定に役立つかについて (参加した学生のみ/複数回答可)

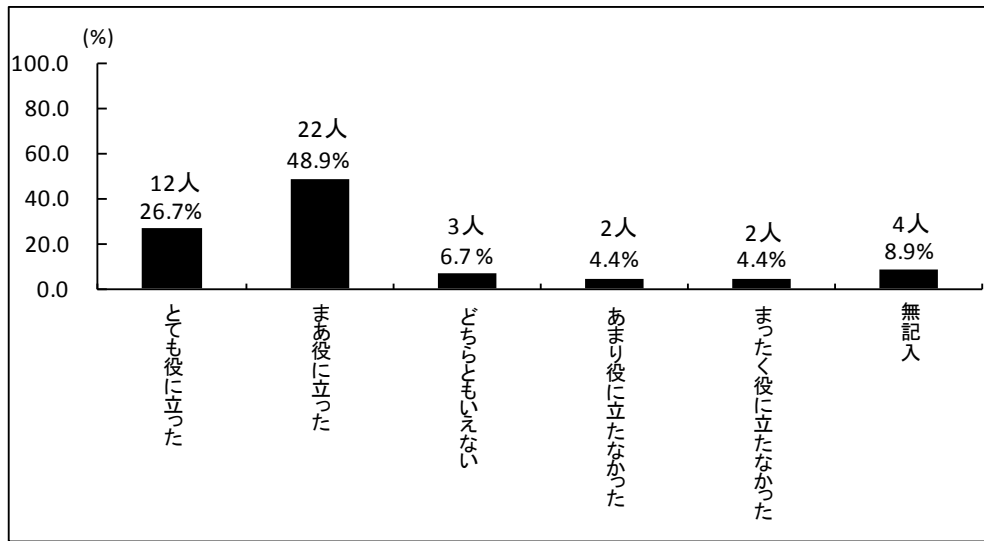


図 19 インターンシップの役立ちについて

問 28. キャリアを考える様な授業が、カリキュラムに組み込まれる必要があるか

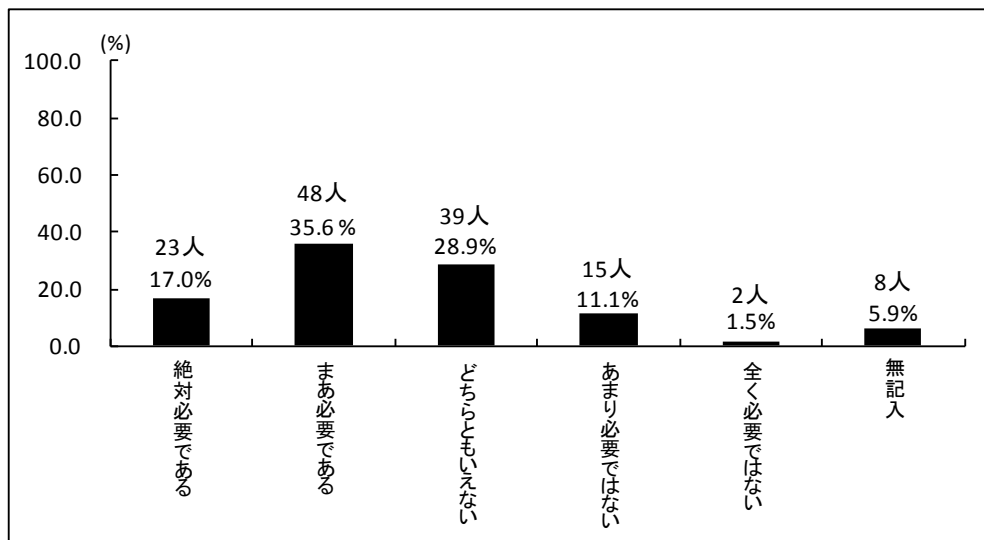


図 20 キャリア教育の必要性について

就職活動について

問 29～31 は就職活動をした人のみ回答（該当者 90 名）。

問 29 .就職活動にあたって、役に立った（重要だった）ものを順に2つ選んでください

（就職活動した学生のみ／2 項目選択）

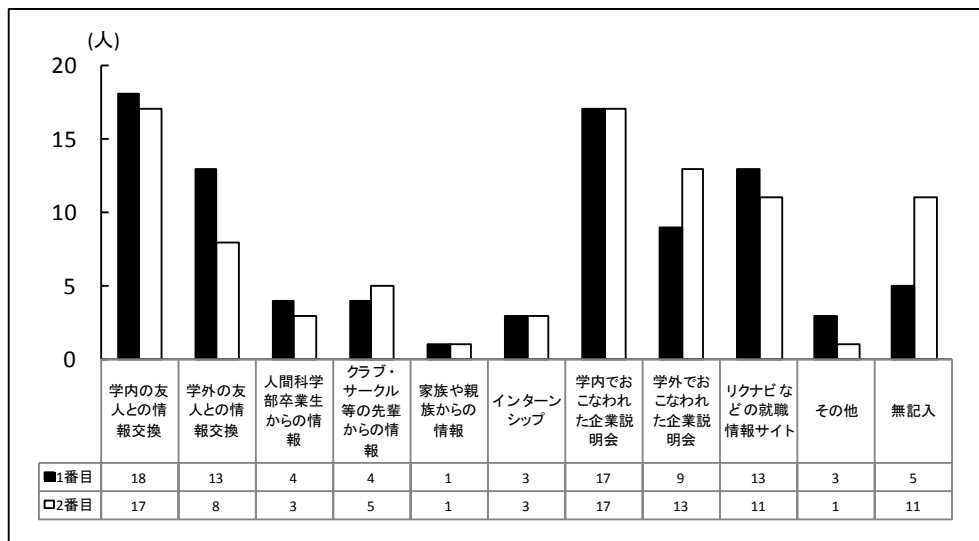


図 21 就職活動で役に立ったものについて

図 21 は就職活動における 9 の事項に関して、役に立った（重要だった）順に2つ選択してもらいグラフ化したものである。事項ごとに、黒の縦棒は1番目に選択、白の縦棒は2番目に選択した人数を示し、数を表記している。

問 30 .就職活動が一番忙しかった時期（就職活動した学生のみ）

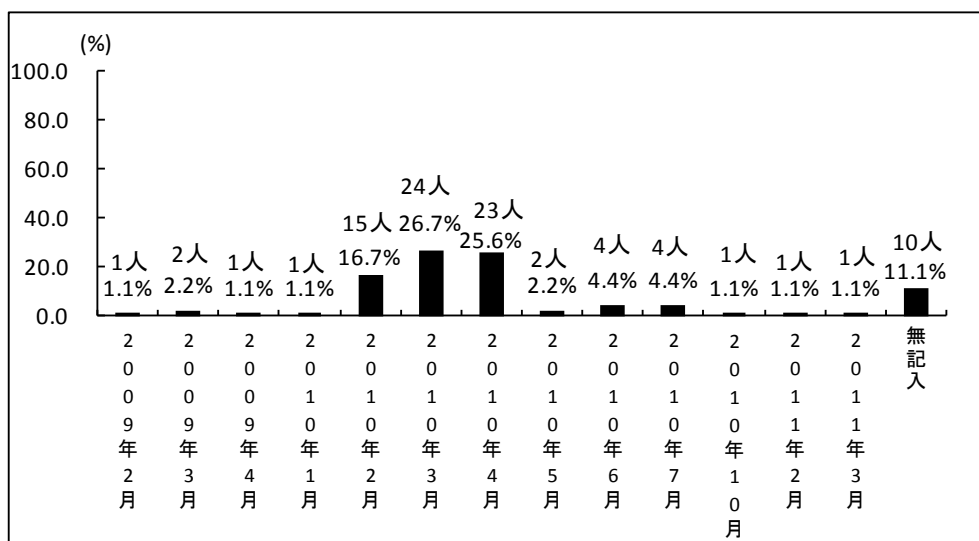


図 22 就職活動で忙しかった時期について

問 31 .就職活動と学業の両立に困難を感じたか（就職活動した学生のみ）

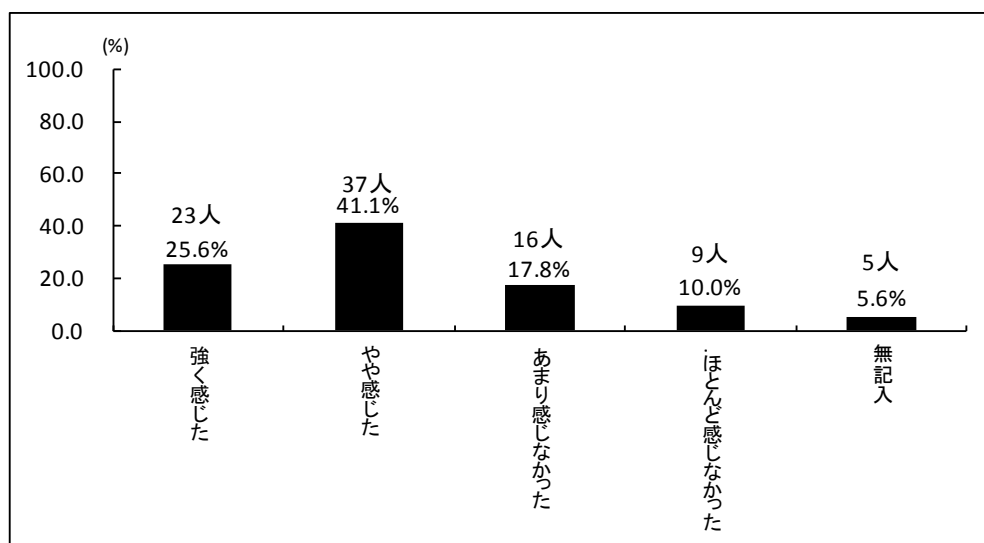


図 23 就職活動と学業両立の困難について

就職活動・進路指導・学生支援に対する要望について

問 32・33 は自由記述欄に記入された原文をそのまま記す。

問 32 .就職活動や進路決定を振り返ってみて、本学部・本研究科に希望する支援について

回答者 31 名

公務員試験の講座開講についての要望・・・6名

- ・公務員試験の講座
- ・公務員試験のための講座
- ・公務員講座（有料でも）あれば嬉しい（生協主催でも）
- ・公務員試験の模擬があれば良かったと思います
- ・資格試験の講義（有料でも可）があればありがたいと思います
- ・筆記試験対策講座の開講

OB との連絡や訪問、講演会についての要望・・・6名

- ・OB 訪問
- ・OB と連絡を取れやすい様にする（いろいろ話を聞きたい）
- ・卒業生とのネットワーク
- ・卒業された OB・OG へのコンタクトを橋渡しするような支援。リスト作成など。
- ・卒業生と就職活動中の学部生が話す機会を増やす工夫
- ・学部としての支援が全体的に少なかったように思う。人科卒業生からの講演会などがあれば、参考になるのでは…？（進路決定に際して）

学業との両立についての要望・・・4名

- ・ミニ卒と時期をずらして欲しい
- ・学業と就職活動の両立はあくまで理想であり、実際は、学業に力を注ぐほど就職活動に使える時間が減り、不利な状況をつくりかねない。本学全体の指導者がそういったことをきちんと理解できているのか、しっかり見直すべき。
- ・就活と学業の忙しい時期の分離
- ・支援は十分だが、3回生のミニ卒との兼ね合いがだいぶ大変だったので、時期、内容を学部全体で考えて欲しい。

就職活動に関する講義等の要望・・・3名

- ・就職活動が大学3年の秋から本格的に行われる以上は、大学1年や2年の段階から、就活に関する講義などを広く行うべき。
- ・1年生のうちに進路を考えるきっかけ
- ・様々なベンチャーのインターシップ、紹介など。大企業よりベンチャーのインターンシップのほうが役に立つと思う。

企業説明会の実施の要望・・・2名

- ・人間科学部内の企業説明会
- ・学内セミナーは企業との距離がとても近く、良かったので、もっと数多くの企業を呼び且つ、学生への周知を徹底すべき。

サテライトオフィスについての要望・・・2名

- ・サテライトオフィスが欲しい（大阪市内・東京都内）
- ・サテライトオフィスで外国語学部や豊中の授業をプレイバック出来るようにすると面白いと思う。

情報についての要望・・・2名

- ・情報提供
- ・全国の主要大学院の情報をまとめたファイルの設置

推薦についての要望・・・2名

- ・推薦
- ・大学は大学。就職は就職、と別と考え行動すべし（学部生）。専門分野であれば、もっと企業への推薦があつて良いと思う（院生）

その他の要望・・・4名

- ・大学院に関する説明会の回数を増やして欲しかったです
- ・大学側で企業の採用方法を変えるように圧力をかけて欲しい
- ・研究志望に対しては十分と考える
- ・学割の利用制限が現状の就職活動を考えると、適しているとは考えにくい。職能教育。

問 33 .就職活動以外の面で、本学部・本研究科に希望する支援について

回答者 15 名

交流に関する要望・・・5名

- ・留学生との交流
- ・より海外の研究生との交流／海外への学会
- ・研究室をこえてコミュニケーションをとれる場
- ・他研究分野との交流。せっかく幅広い研究をしているので、もっと学際的なコミュニケーションがあってもよいと思う。
- ・他大学から入学してきた者からすれば、人間科学研究科は閉鎖的な雰囲気があるので、もっと交流すべき。

留学に関する要望・・・4名

- ・留学支援。今の国際交流室は、イベントの告知や留学する学生のケアなど圧倒的に足りない。
- ・留学情報。社会学は内向な印象。相談室は入りにくく感じた。
- ・研究に関しては、留学の支援の充実が理系の学部・研究科に比べて足りないと感じた。
- ・留学支援をもう少し声高にやってくれてもいいのではないかと思います。あと、教職課程に関して、対応など少し厳しいな、と感じました。

その他の要望・・・6名

- ・語学や他国でのプレゼンテーションに関する支援を頂けたら良いと思います
- ・他教科の教職をとる学生への配慮・支援
- ・もっと自由に分野間・研究室間を移る支援。1度は入ったらおしまい、という感じがするのでもっとフレキシブルさが欲しい。
- ・女性支援
- ・奨学金等の金銭的援助・留学の全面的サポート
- ・広報（連絡事項等）をもう少し分かりやすくして欲しい

本学部または本研究科に対する総合的な意見について

問 34 .総合的に判断して、本学部・本研究科は満足できるものでしたか

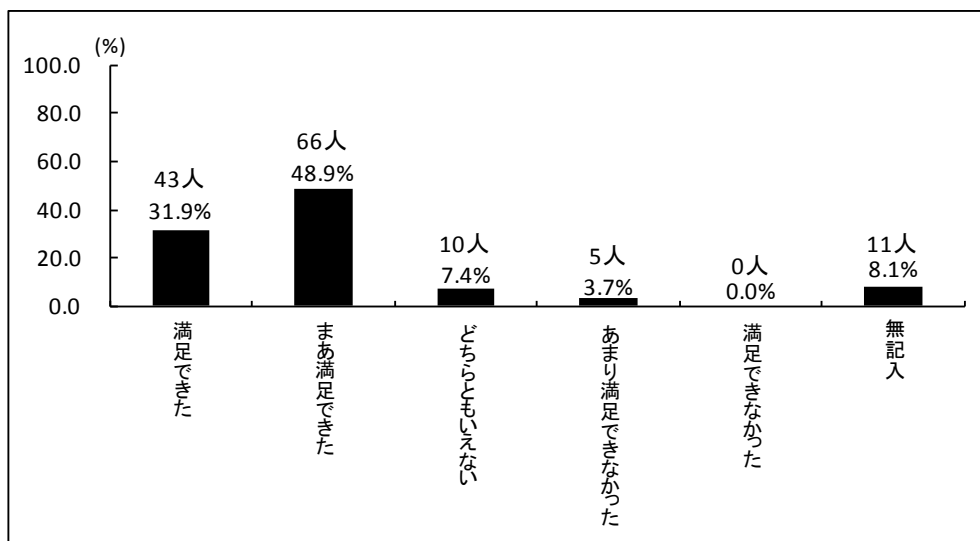


図 24 総合的な満足度について

問 35 .本学部・本研究科キャンパスの施設・設備は満足できるものでしたか

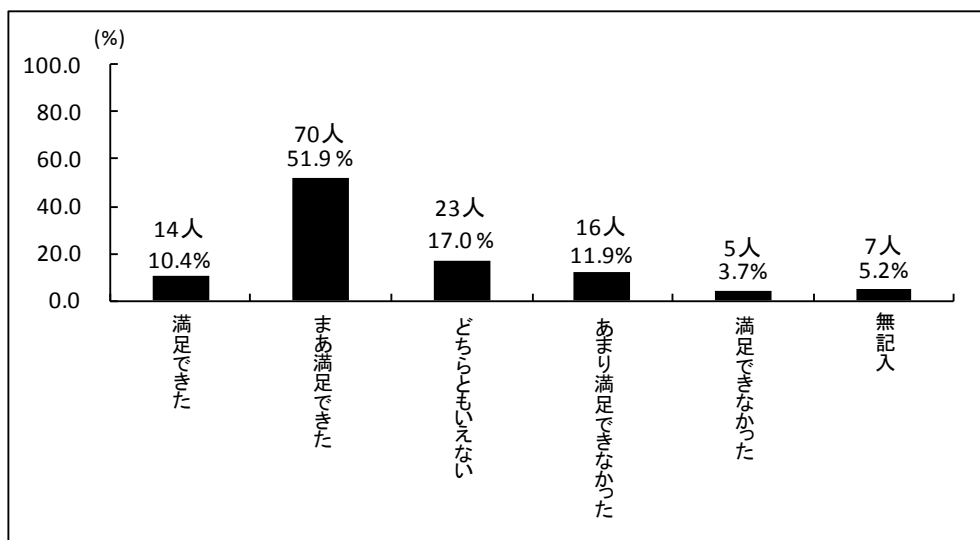


図 25 施設・設備の満足度について

問 36 .本学部・本研究科キャンパスサポート面は満足できるものでしたか

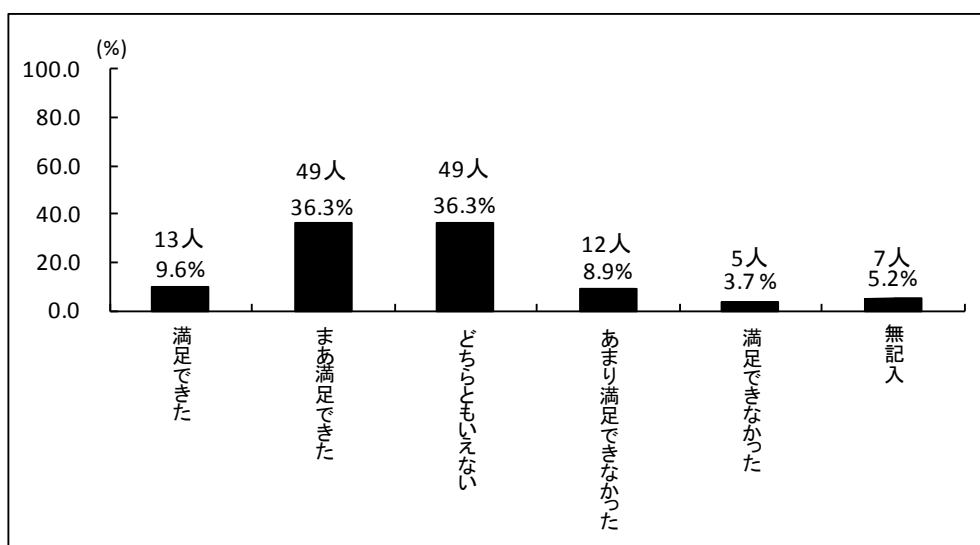


図 26 サポート面の満足度について

問 37・38 は自由記述欄に記入された原文をそのまま記す。

問 37 .本学部・本研究科キャンパスの施設・設備・サポート面で改善して欲しいこと

回答者 39 名

施設・設備について・・・28名

- ・本館のトイレ
 - ・トイレ
 - ・本館のトイレ、個室の鍵の調子が悪いところがある
 - ・うまく閉まらないトイレの鍵（女子）を直してください
 - ・本館のトイレを綺麗にして欲しい
 - ・本館のトイレを綺麗に改善して欲しい
 - ・トイレを綺麗にして欲しい
 - ・トイレの美化（本館）、食堂の増築
 - ・シャワールーム・温水プール
 - ・シャワー室、自習室や PC を使えるスペース、トイレをもっときれいにして欲しいです
 - ・教室の数、広さについて、広い教室（多人数が入れる教室）をもう少し増やして欲しい
 - ・講義室が狭い。ラウンジが欲しい（学科をまたぐ公共空間）
 - ・研究室をこえてコミュニケーションをとれる場
 - ・建物内が暗すぎ。誰でも行けるカフェテリアのような施設が欲しい。
- 留学生との授業を増やすべき
- ・学生が休暇等を取れるスペースが 1 室分あると有り難く思います
- 学生サイドの方に問題等がある場合もあるかもしれませんが、より丁寧な事務対応をお願いできれば幸いです。
- ・ちゃんとした研究室が欲しかったです。卒論が少し大変でした。

- ・部屋がほしい
- ・もっと気軽にオープンにパソコンが使える部屋が欲しい
- ・フリーアクセスの無線 LAN の設置
- ・人科にプリンターの使えるパソコン室が欲しかった
- ・研究室以外の PC が古い&互換性がないのを改善して欲しい
- ・ご飯を食べる場所を増やして欲しい
- ・食堂
- ・食堂（おいしい）
- ・頭を働かせるために美味しい食堂
- ・校舎を明るくして欲しい
- ・売店が欲しい。土・日に校内に入れなくなるのがつらい。
- ・虫が多いので殺虫して欲しいです。授業中に何度もゴキブリを見ました。
部屋のドアをしっかりとさせて欲しいです
防音・ドアの開け閉めの音という点で気になります。完全禁煙にして欲しいです。

サポート面について・・・11名

- ・図書館サービスの充実（蔵書数をもっと増やして欲しい、司書の勤務態度の改善）
- ・図書館の開館時間が短い（出来ることが少ない）
事務と教官との間に言っていることの食い違いがある
- ・図書館はもう少し開館している時間を増やして欲しい
- ・図書館の開放時間を長くして欲しい。荷物持ち込みも認められればより良い。
- ・図書室の規模を大きくして欲しいです
- ・図書館の本がもっとあれば研究すすむ。
- ・図書館の所蔵が少ないし、ちょっと借りにくいところがある（先生の研究室にある図書とか）
- ・図書室が使いにくく、事務が入りづらい
- ・単位獲得数のカウントをして欲しい（在学途中でも）
- ・バスの繁忙時間帯に本数が少ない
- ・「大学」の位置づけとして研究に重点を置くのは不自然なことではないが、卒業生の多くが就職を選ぶことから、それを支援しないことや学業による過度な負担をかけるのはよくない。学部全体としてもう一度、就職活動と学業との両立のあり方について再考すべきだと思う。

問 38.本学部・本研究科に対する意見・感想について

回答者 17 名

- ・1年次に共通教育ではなく、専門の勉強をすべき。共通教育がつまらない。
適当すぎて大学（学業）に対する熱意が冷める。
- ・講義の時間割において、いくつもの講義がかぶっている時限がある一方で、ほとんど講義のない時限もある。もう少し、バラつきを持たせ、選択の幅を広くして欲しい。

- ・カリキュラムや授業内容について大幅な改善が必要。現状はカリキュラムがまったく体系化されていない。学際研究をうたっているが、研究間の連携などが皆無であり、おわってる。
- ・専門的な内容を増やして欲しい。そのために、他の学科目の必要単位数を減らし、教養科目の期間を短くして欲しい。
- ・教職課程のアナウンス等をもっとして欲しかったです。それ以外は特になく、楽しく充実した日々を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。
- ・社会系の人にパソコンを…。
- ・博士後期課程でも、研究科賞の設立をお願いします。
- ・学生の臨み方次第で、大学生生活の充実感が変わってくるものだな、と感じた。
- ・二年間本当に多くのことを学ばせていただきました。本当に有難うございました。
- ・4年間という短い時期でしたが、お世話になりました。今では、もう少し真面目に授業を受ければ良かったな、と思います。
- ・いろんなことを考えることができました。本当にありがとうございました。
- ・6年間たくさんの思い出があります。長い間お世話になりました。
- ・お世話になりました。ありがとうございました。
- ・お世話になりました
- ・ありがとうございました
- ・いい学生生活でした！！
- ・人科に入れてよかったです！！



平成 23 年 3 月
大阪大学大学院人間科学研究科
大阪大学人間科学部
評価委員会・学生支援室

2010 年度

大阪大学大学院人間科学研究科修了生 及び 人間科学部卒業生の生活と意識に関する調査

このアンケートは人間科学研究科・人間科学部を修了/卒業しようとする皆さんを対象に行うものです。皆さんが過ごされた院生生活/学生生活を振り返り、日頃感じていたことを率直にお聞かせください。皆さんのご意見は今後の教育課程・教育内容・就職支援等の改善に役立てます。

あわただしい中で恐れ入りますが、よろしく御協力ください。アンケートは無記名で行います。回答は統計的に処理され、回答者を特定する事はございません。なお、調査結果は集計後、人間科学研究科/人間科学部 ホームページに掲載致しますのでご覧ください。

- (1) 回答は選択肢の中から当てはまる番号に○印をつけてください
(原則として○はひとつです)。

【例】 あなた自身についてお答えください。

- ① 人間科学部 卒業
2. 大学院人間科学研究科博士前期課程 修了
3. 大学院人間科学研究科博士後期課程 修了

- (2) 選択肢ではなく、空欄に記入していただく質問もあります。

回答したアンケートは退出時に出口で提出してください。



最初にあなた自身についてお教えてください。

問 1

1. 女性
2. 男性

問 2

1. 人間科学部 卒業
2. 大学院人間科学研究科博士前期課程 修了
3. 大学院人間科学研究科博士後期課程 修了

問 3

1. 先端人間科学 所属
2. 行動学 所属
3. 社会学 所属
4. 人間学 所属
5. 教育学 所属
6. グローバル人間学 所属
7. ボランティア人間科学 所属

問 4

1. 民間企業 就職内定
2. 官公庁 就職内定
3. 大学院 進学決定
4. 未定
5. その他（具体的に： _____）

つぎに、あなたの学生生活または院生生活についてお教えてください。

問 5 入学のときに本学部または本研究科を選んだ理由は何ですか（〇はいくつでも）。

1. 学部・研究科の理念に共鳴したから
2. 自分の学力に合致していたから
3. 関心のある分野があったから
4. 魅力のある先生がいたから
5. オープンキャンパスで関心を持ったから
6. 通学に便利だから
7. 就職に有利だから
8. 授業料が安いから
9. その他（具体的に： _____）

問 6 入学前に人間科学部のオープンキャンパスに参加しましたか。

1. 参加した
2. 参加しなかった

→学部卒業の方は次の問 7 へお進みください。

大学院修了の方は問 9 へお進みください。

問 7（学部卒業生のみご回答ください）

あなたは学科目を決める時、十分な情報を与えられたと思いますか。

1. 十分与えられた
2. まあ与えられた
3. あまり与えられなかった
4. 全然与えられなかった

問 8（学部卒業生のみご回答ください）

学科目を選択した理由は、つぎのどれでしたか（〇はいくつでも）。

1. 学びたい内容の研究分野があったから
2. 魅力のある先生がいたから
3. 就職を考えて
4. 楽しそうだから
5. 希望した学科目にいけなかったから
6. 友人の影響で
7. 自由な時間が多そうだから
8. その他（具体的に： _____）

問 9 学生生活または院生生活の中で、あなたはつぎの活動について、それぞれどの程度力を注いでいましたか。

	非常に力を注いだ	まあ力を注いだ	どちらともいえない	注がなかった	あまり力を注がなかった	力を注がなかった	該当しない
a. 授業	1	2	3	4	5	6	
b. 卒論・修論・博論	1	2	3	4	5	6	
c. 自主学习	1	2	3	4	5	6	
d. 研究会・読書会	1	2	3	4	5	6	
e. 就職活動	1	2	3	4	5	6	
f. 資格試験準備	1	2	3	4	5	6	
g. クラブ・サークル活動	1	2	3	4	5	6	
h. アルバイト	1	2	3	4	5	6	
i. レジャー	1	2	3	4	5	6	
j. 社会活動 (ボランティア等)	1	2	3	4	5	6	
k. 大学または学部の 自治会	1	2	3	4	5	6	

→学部卒業の方は次の問 10 へお進みください。
学部編入された方は問 15 へお進みください。
大学院修了の方は問 16 へお進みください。

全学共通教育（豊中キャンパス）の
カリキュラムについて意見をお聞かせください。

問 10（編入生を除く学部卒業生のみご回答ください）
「教養教育科目」はカリキュラムとして必要だと思いますか。

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

問 11（編入生を除く学部卒業生のみご回答ください）
「外国語教育科目」はカリキュラムとして必要だと思いますか。

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

問 12（編入生を除く学部卒業生のみご回答ください）
「情報処理教育科目」はカリキュラムとして必要だと思いますか。

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

問 13（編入生を除く学部卒業生のみご回答ください）
「健康・スポーツ教育科目」はカリキュラムとして必要だと思いますか。

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

問 14（編入生を除く学部卒業生のみご回答ください）
「専門基礎教育科目」はカリキュラムとして必要だと思いますか。
（統計学A-I、統計学A-II、数学A、数学B）

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

専門課程（吹田キャンパス）の
カリキュラムについて意見をお聞かせください。

問 15（学部卒業生のみご回答ください）
「実験実習」の卒業に必要な単位数についてどう思いますか。

1. もっと増やすべき
2. もう少し増やすべき
3. 現状のままでよい
4. 減らすべき
5. 無くすべき

問 16「講義」の卒業に必要な単位数についてどう思いますか。

1. もっと増やすべき
2. もう少し増やすべき
3. 現状のままでよい
4. 減らすべき
5. 無くすべき

問 17「演習」の卒業に必要な単位数についてどう思いますか。

1. もっと増やすべき
2. もう少し増やすべき
3. 現状のままでよい
4. 減らすべき
5. 無くすべき

問 18 卒業する為に、卒業論文または修士論文が必要になっていることについてどう思いますか。

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

問 19 卒業に必要な総単位数は適量だと思いますか。

1. 多い
2. やや多い
3. 適量
4. やや少ない
5. 少ない

問 20 本学部または本研究科で身に付いたことは何ですか（〇はいくつでも）。

1. 専攻分野の専門的な知識
2. 専攻分野以外の専門的な知識
3. 一般教養
4. 語学力
5. IT スキル
6. 仕事に役立つ実践的な知識・技能
7. 対人関係を調整する能力
8. ものごとを柔軟に考える能力
9. 社会的弱者に対する深い理解
10. 国際感覚と異文化に対する理解
11. その他
(具体的に：)

問 21 本学部または本研究科でもっと身に付けられると良いと思うことはどれですか（〇はいくつでも）。

1. 専攻分野の専門的な知識
2. 専攻分野以外の専門的な知識
3. 一般教養
4. 語学力
5. IT スキル
6. 仕事に役立つ実践的な知識・技能
7. 対人関係を調整する能力
8. ものごとを柔軟に考える能力
9. 社会的弱者に対する深い理解
10. 国際感覚と異文化に対する理解
11. その他
(具体的に：)

つぎにインターンシップについてうかがいます。

問 22 在学中、インターンシップに参加しましたか（大学で実施した以外も含めてお答えください）。

1. 参加した
2. 参加しなかった

→参加した方は問 23 へお進みください。
それ以外の方は問 28 へお進みください。

問 23（参加した方のみご回答ください）
いつ参加しましたか（〇はいくつでも）。

1. 一年次
2. 二年次
3. 三年次
4. 四年次
5. 修士一年次
6. 修士二年次

問 24（参加した方のみご回答ください）
どのくらいの期間でしたか（〇はいくつでも）。

1. 数日程度
2. 1～3週間程度
3. 1ヶ月以上

問 25（参加した方のみご回答ください）
受入先について、あてはまるものに〇をしてください（〇はいくつでも）。

1. 一般企業
2. 官公庁
3. 非営利団体

問 26（参加した方のみご回答ください）
インターンシップ授業（インターンシップA 等）は履修しましたか。

1. 履修した
2. 履修しなかった

問 27（参加した方のみご回答ください）
インターンシップは就職活動や進路決定に役立ちましたか。

1. とても役に立った
2. まあ役に立った
3. どちらともいえない
4. あまり役に立たなかった
5. まったく役に立たなかった

問 28 将来の進路や就職のために、キャリアを考える様な授業がカリキュラムに組み込まれる必要があると思いますか。

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

→在学中に、就職活動をされた方は次の問 29 へお進みください。
それ以外の方は問 32 へお進みください。

つぎに就職活動についてうかがいます。

問 29 就職活動にあたって、役に立った(重要だった)ものを次の中から順に2つ選んで、番号を記入してください。

1 番目 () 2 番目 ()

1. 学内の友人との情報交換
2. 学外の友人との情報交換
3. 人間科学部卒業生からの情報
4. クラブ・サークル等の先輩からの情報
5. 家族や親戚からの情報
6. インターンシップ
7. 学内でおこなわれた企業説明会
8. 学外でおこなわれた企業説明会
9. リクナビなどの就職情報サイト
10. その他(具体的に:)

問 30 就職活動が一番忙しかった時期はいつですか。

西暦

20			
----	--	--	--

 年

--	--	--	--

 月

問 31 就職活動と学業の両立に困難を感じましたか。

1. 強く感じた
2. やや感じた
3. あまり感じなかった
4. ほとんど感じなかった

就職活動・進路指導・学生支援に対する要望についてうかがいます。

問 32 就職活動や進路決定を振り返ってみて、本学部・本研究科にどのような支援があればよいと思いますか(特に、首都圏・地方での就職活動、公務員試験の準備に関しての意見をお持ちの方)。

問 33 就職活動以外の面で、本学部・本研究科にどのような学生支援があればよいと思いますか？

本学部または本研究科に対する総合的な意見についてうかがいます。

問 34 総合的に判断して、本学部または本研究科は満足できるものでしたか。

1. 満足できた
2. まあ満足できた
3. どちらともいえない
4. あまり満足できなかった
5. 満足できなかった

問 35 本学部・本研究科キャンパスの施設・設備は

満足できるものでしたか。

例) 講義室・図書室・実験施設・
サイバーメディア室等

1. 満足できた
2. まあ満足できた
3. どちらともいえない
4. あまり満足できなかった
5. 満足できなかった

問 36 本学部・本研究科キャンパスのサポート面は

満足できるものでしたか。

例) 事務・学生支援・就職支援等

1. 満足できた
2. まあ満足できた
3. どちらともいえない
4. あまり満足できなかった
5. 満足できなかった

問 37 本学部・本研究科キャンパスの施設・設備・

**サポート面で、改善して欲しいことがあれば具
体的に記入してください。**

問 38 人間科学部・人間科学研究科に対するご意見・ご感想ございましたら、ご自由にお書きください。

アンケートのご協力ありがとうございました